

一編の作文で人生が変わる!

★最優秀賞・日本大使賞受賞者は日本に一週間ご招待

★受賞作品は書籍として日本で公式に刊行

★三等賞以上の受賞者には、月額10万円の奨学金（返済義務なし）応募資格を授与

★園丁賞・優秀指導教師賞授与

★優秀指導教師のお名前も受賞作品集に掲載

第20回 中国人の日本語作文コンクール

コンセプト **AI時代の日中交流**

受付期間 **2024年5/8(水)～31(金) 必着**

各賞

- 最優秀賞・日本大使賞 1名
- 一等賞 5名
- 二等賞 15名
- 三等賞 40名

主な副賞

- 最優秀賞 日本に一週間招待
- 受賞作品を書籍として公式に刊行
- 月額10万円の奨学金応募資格を授与(返済義務なし)
- 朝日新聞電子版 無料掲載
- 賞金など

佳作賞 100名

園丁賞

優秀指導教師賞 (最優秀賞者)

北京・在中国日本国大使館にて表彰式を開催

主催：日本僑報社・日中交流研究所 (所長：段躍中)

協賛：株式会社 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス (PPIH)、公益財団法人 東芝国際交流財団

メディアパートナー：朝日新聞社 奨学金支援：公益財団法人 安田奨学財団

後援：在中国日本国大使館 ほかに 致遠教育塾

日本語作文コンクールHP <http://duan.jp/jp/>

コンセプトとテーマ

AI時代の日中交流

- ①AI時代の日中交流プラットフォームの構築を考える
- ②先輩に学び、日本語学習を頑張る
- ③私を変えた日本語教師—先生への感謝状

※テーマに関する趣旨説明

- 応募資格** 中国の学校で日本語を学ぶ中国人学生 (社会人は不可)
- 受付期間** 2024年**5月8日(水)～5月31日(金)**
締切は**5月31日(必着)** 中国時間午後11時59分まで
- 体裁** 字数：本文＝横書き、1500～1600字（厳守、タイトルとスペースを含めない）
形式：Word、A4サイズ1枚以内（フォーマットはここ）
- 応募方法** 下記のメールアドレスまで、
①応募票（ダウンロードは**ここ**）
②作文（フォーマットは**ここ**）
を添付ファイルでお送り下さい。＊圧縮ファイルは開けない・文字化けの場合が多く、使用しないようお願いいたします。
団体の例：第20回応募（〇〇大学〇〇本） 送り先→group@duan.jp
個人の例：第20回応募（応募者氏名） 送り先→one@duan.jp
＊応募票と作文に関する詳細の規定は**ここ**です。
- 審査方法** 一次審査 コンクール事務局を中心とする一次審査員が直読・審査し、採点を行います。
二次審査 一次審査で上位に選出された作文を、有識者による二次審査員が直読・審査し、採点を行います。
三次審査 二次審査で合計得点の高かった学生に対し、ウィーチャットによる口述審査を行います。
最終審査 在中国日本国大使館が最終審査を行い、その結果に基づき最優秀賞・日本大使賞をはじめとする各賞を決定します。
- 賞** **最優秀賞・日本大使賞** 1人(賞状+日本に一週間ご招待など副賞)
一等賞 5人(賞状+副賞)
二等賞 15人(賞状+副賞)
三等賞 40人(賞状+副賞)
佳作賞 100人(賞状+副賞)
＊各副賞の詳細は**2023年の実績**を参照。
＊**安田奨学財団合格感想文集**
- 団体応募園丁賞** 学生の日本語能力向上に貢献された功績を讃え、団体応募数が50人以上の学校に授与する賞です。該当校には賞状及び記念書籍を贈呈いたします。
＊園丁賞記念書籍の申込み締切は6月30日とさせていただきます。
＊送付方法については別途案内します。
- 優秀指導教師賞** 日本語教師の日ごろの努力とその成果を讃え、三等賞以上の受賞者を育てた教師個人に、賞状と記念書籍を贈呈いたします（表彰式への参加者のみ）。
＊優秀指導教師向けの「私の日本語作文指導法」原稿を募集します【一等賞以上6名の指導教師は指導体験談を執筆必要です】。寄稿された原稿は、その年の受賞作品集および作文コンクールHPにて特別掲載いたします。 字数：本文＝横書き2000～3000字。形式：Word、2023年の締切：10月20日（日）必着
- 表彰式・懇親会** 2024年12月12日（木）北京の日本国大使館にて開催予定。＊各種状況により変更することもあります
- 結果発表** 入賞者にメールでお知らせすると共に、日本僑報社ホームページ、微博、微信公眾号・中日橋段、メールマガジン「日本語作文大賞月報」、「日本僑報電子週刊」、ブログ「段躍中日報」にて発表します。
また同時に、日中両国のマスコミにも発信します。
- 特集の頁** 第1回 中国人の日本語作文コンクール特集
第2回 中国人の日本語作文コンクール特集
第3回 中国人の日本語作文コンクール特集
第4回 中国人の日本語作文コンクール特集
第5回 中国人の日本語作文コンクール特集
第6回 中国人の日本語作文コンクール特集
第7回 中国人の日本語作文コンクール特集
第8回 中国人の日本語作文コンクール特集
第9回 中国人の日本語作文コンクール特集
第10回 中国人の日本語作文コンクール特集
第11回 中国人の日本語作文コンクール特集
第12回 中国人の日本語作文コンクール特集
第13回 中国人の日本語作文コンクール特集
第14回 中国人の日本語作文コンクール特集
第15回 中国人の日本語作文コンクール特集
第16回 中国人の日本語作文コンクール特集
第17回 中国人の日本語作文コンクール特集
第18回 中国人の日本語作文コンクール特集
第19回 中国人の日本語作文コンクール特集
- 注意事項** ① 応募作品は返却しません。また、受賞作品の著作権は日本僑報社・日中交流研究所に帰属することをあらかじめご了承ください。
② 募集要項（文字数、応募期間、送付方法など）を遵守いただけなかった作文は審査対象外になる場合があります。
③ 応募作品は、応募者自身のオリジナルであり、国内外で自作未発表のものに限ります（他コンクール・媒体等への重複応募、重複投稿は、これを固く禁止します）。
④ 応募作品に他文獻・論文・インターネット等からの盗用・翻写が認められた場合、主催者はこれを不正行為と見なし、確認時点で、当該作品の応募を失格とします。
⑤ 受賞発表後の作品、また過去の受賞作品に他文獻・論文・インターネット等からの盗用・翻写が認められた場合、主催者はこれを不正行為と見なし、確認時点で、当該作品の受賞を取り消します。
- 主催** 日本僑報社・日中交流研究所（所長：段躍中）
- 協賛** (株)パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
公益財団法人 東芝国際交流財団
- メディアパートナー** 朝日新聞社
- 奨学金支援** 公益財団法人 安田奨学財団
- 後援** 在中国日本国大使館
(公社) 日本中国友好協会、日本国際貿易促進協会、(一財) 日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、(一財) 日中経済協会、日本国際貿易促進協会、(一財) 日本中国文化交流協会、中国日本商會、北京日本倶楽部
- 協力** 致遠教育塾、(公財) 日中国際教育交流協会

2008年より最優秀賞受賞者に「日本大使賞」を授与

日本大使賞受賞者の訪日特集はこちら

好評発売中！中国人の日本語作文コンクール受賞作品集



＊第2回受賞作品集は朝日新聞書評委員より高い評価を受け、「今年の3点」に掲載

コンクール年間予定表

- 1月：募集要項発表
- 5月：受付、5月31日締切 ※6/9までに事務局から「受付済み」メールがなければ、お申し出（再送）のこと。
- 6月下旬：園丁賞発表（副賞の記念書籍のお申し込みは6月30日まで）
- 9月下旬：佳作賞以上の入賞者を発表
- 10月上旬：①-三等賞以上の入賞者発表 ②-口述試験実施 ③-入賞作文校正のお願ひ
- 10月下旬：最優秀賞・日本大使賞を発表
- 11月上旬：表彰式の参加要領、招待状などを送付（該当者のみ）
- 11月下旬：表彰式出欠受付 ＊三等賞以上の挨拶動画（1分間程度）受付、11月30日締切
- 12月12日：北京・日本大使館で表彰式開催（予定）

日本語作文コンクール総合案内

<http://duan.jp/jp/>